

平成 30 年 5 月 11 日

## 返還情報等ネットワーク連絡網（第 8 報）

平成 28 年 2 月 2 日に沖縄防衛局と構築した「返還情報等ネットワーク連絡網」により、本会あてに「キャンプ・ハンセンのマスタープラン」について情報提供がありましたので、下記のとおり、お知らせします。

### 記

1 駐留軍用地の建物等の移設に関する情報

※別添：FAC6011 キャンプ・ハンセンのマスタープランについて  
「日米合同委員会合意事案概要」（沖縄防衛局作成資料）

2 参考

※別添「新聞記事」（平成 30 年 5 月 11 日付、琉球新報、沖縄タイムス）

以上

## 日米合同委員会合意事案概要

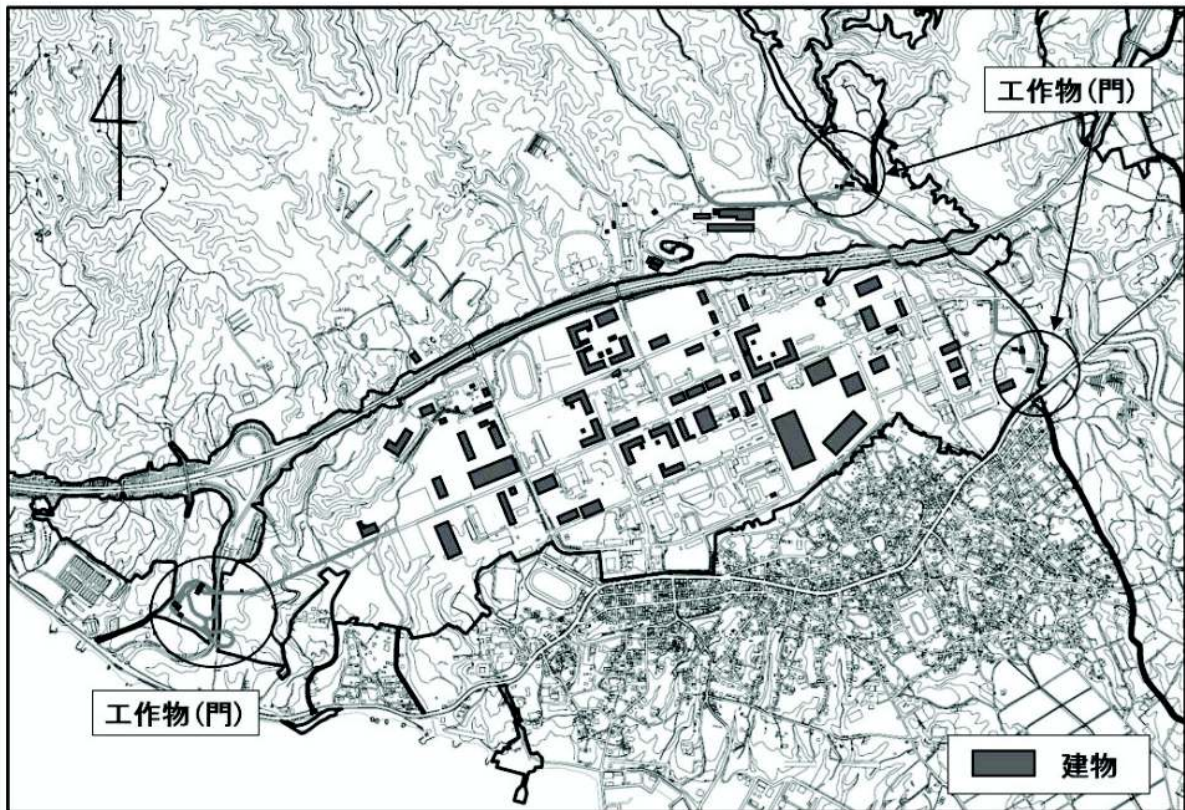
件名	キャンプ・ハンセンのマスタープランについて
承認年月日	平. 30. 5. 11
施設・区域名称	FAC6011 キャンプ・ハンセン
合意対象所在地	沖縄県国頭郡金武町
合意対象面積等	土地：－
	水域等：－
	建物：約100棟
	工作物：門、道路等
	附帯施設：－

### 【事案内容】

本件は、平成25年4月に発表された「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画」に基づき作成された標記施設・区域のマスタープランについて、日米合同委員会の承認を得たものである。

### 記

- 建物：倉庫施設、整備工場、宿舎等約100棟
- 工作物：門、道路等



平成 30 年 5 月 11 日 (金)

琉球新報 (1) ハンセンに移転着手 2カ所倉庫群、日米合意へ

# ハンセンに移転着手

## 2カ所倉庫群、日米合意へ

嘉手納より南の米軍施設返還計画を巡って、日米両政府が牧港補給地区(キャンプ・キンザー)とキャンプ・ハンセンにある倉庫群や施設を、日米合意に基づきキャンプ・ハンセン(金武町など)に移転する作業に着手することが分かった。複数の政府関係者が明らかにした。11日にも日米合同委員会を開き、具体的な手続きに関して正式合意する。

返還計画では、返還が明記された嘉手納より南の米軍施設について、多くが移設条件付きとなっている。今回、返還条件の一つにキャンプ・ハンセンへの施設移転が挙げられている。

2013年に合意した返

キャンプ・キンザーの倉庫地区については、キャンプ・ハンセンを含む県内4施設が移転先となっており、施設を抱える沖縄市と読谷村がこれまで移転を受け入れる判断を示している。

今回の移転先となる金武町の池原均副町長は10日、琉球新報の取材に対し「町として何も意思表示はしていない」と述べた。その上

で「(移転先や規模など)計画の詳細が示されてから、町として対応を検討することになる」と話した。



平成 30 年 5 月 11 日 (金)

沖縄タイムス (3) 倉庫群 移設計画合意へ 日本政府 2 施設からハンセンに

# 倉庫群 移設計画合意へ

## 日米政府 2 施設からハンセンに

2013年に日米合意した嘉手納より南の米軍施設の返還計画に伴い米軍キャンプ・ハンセン(金武町など)に倉庫群などを移設する計画に、日米両政府が11日にも詳細な内容を定めたマスタープラン(MP)に合意することが分かった。

複数の政府関係者が10日、明らかにした。ただ、計画ではMP作成には最短で3年かかるとされており、計画から2年遅れていることになる。

移設するのはキャンプ瑞慶覧(北中城村など)と牧港補給地区(キャンプ・キンザー、浦添市)の2施設にある倉庫群や車両整備工場、管理事務所など。ハンセン内で既存施設の建て替

えを含め、計約100棟を建設する。

日米は13年に合意した計画で、瑞慶覧の一部区域「インダストリアル・コリドー」(約62畝)、キンザーの倉庫地区(約129畝)を「代替施設が提供され次第、返還可能」としている。

ハンセンへの一部施設の移設は返還条件の一つで、コリドー南側は西普天間住宅地区跡地の利用と連動するため、宜野湾市が早期返還を求めている地区でもある。

両地区とも、この他にも返還条件があり、返還時期は依然、不透明な状況だ。